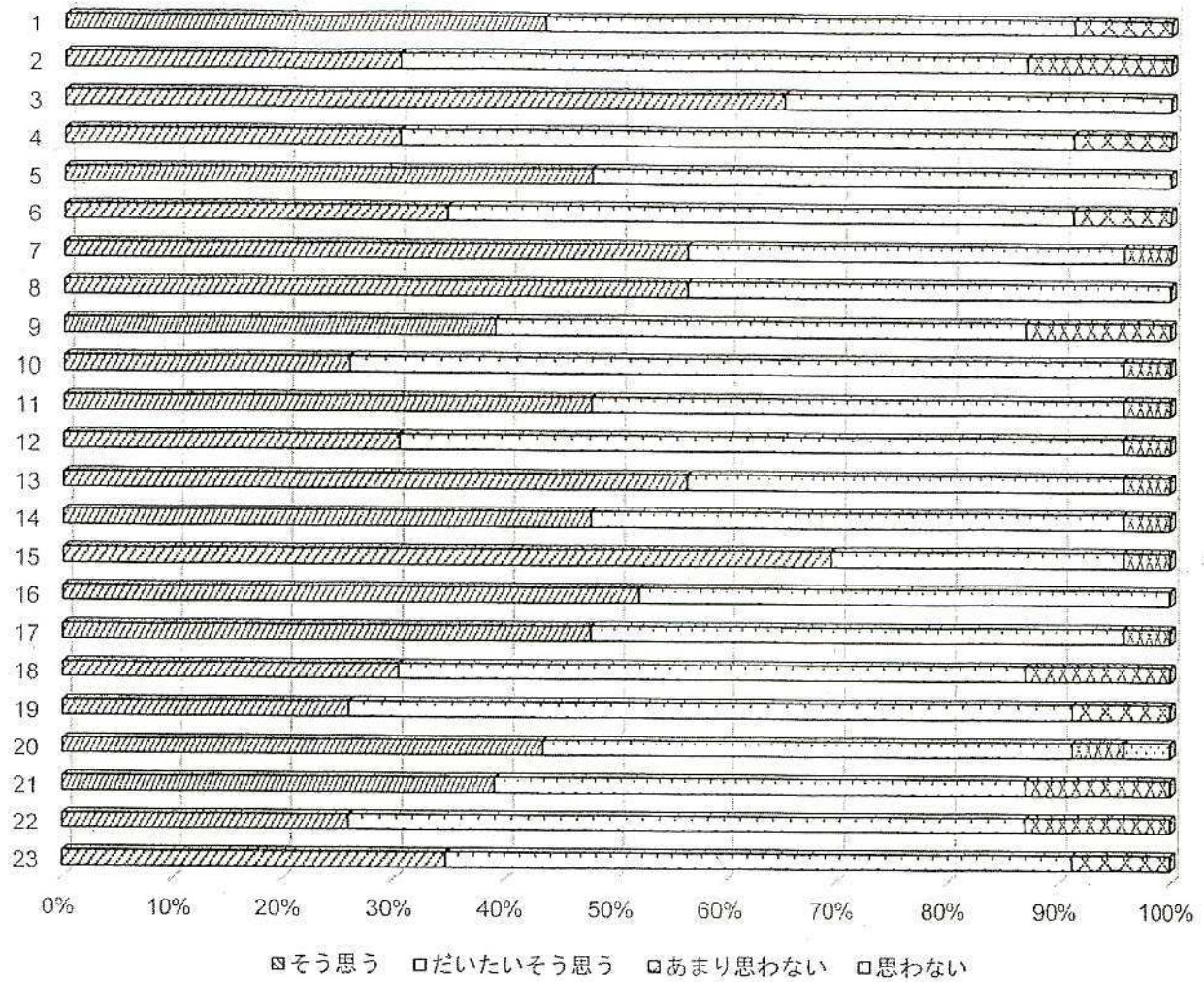


## 教職員アンケート結果

### ○教職員アンケート項目

①基本的な生活習慣の啓発	お便りや懇談会、面談等で、基本的な生活習慣の大切さについて触れ、保護者に協力してもらえるように啓発した。
②自尊感情の育成	様々な教育活動を通して、子どもに「自分の可能性を信じ、責任をもってやり遂げた」という成功体験をもたせた。
③健康教育 安全・防災教育	子どもが自身の健康と安全について考え意識を高め、「自分の命は自分で守る」健康・安全教育に努めた。
④食育教育の推進	食に対する関心を高める指導を教育課程に位置づけ指導に努めた。
⑤勤労体験、体験学習の推進	清掃、当番、係、委員会、ボランティア活動、体験活動等の一人一人の活躍の場を作り指導することを通して、子どもが自分の役割を果たすことの大切さや「自己有用感」を自覚するように努めた。
⑥キラキラタイムの取り組み	遊びや運動を通して日常的に体を動かし、体力づくりを行う指導に努めた。
⑦感染症拡大防止	感染症拡大防止に留意した教育活動の工夫に努めた。
⑧校内研究による職員の資質及び授業力向上	校内研究の主題を理解し、主題に迫るための授業展開を学年・学級で考え、指導の向上に努めた。
⑨学年会の充実と教材研究	年間を見通して教材研究と開発の工夫に努め、GIGA 端末や ICT 機器の効果的な活用を図るとともに計画的・意図的に選択と集中の下で教育活動を展開した。
⑩指導方法の工夫改善と言語活動の充実	各教科における目標をふまえ、育てたい資質・能力、本時のねらいを明確にもった授業展開の実現と言語活動の充実に努めた。
⑪学習ルールの確立と教室環境の整備	話し方・聴き方、学習用具の扱い方等、基本的な学習習慣の確立に努めた。教室の掲示物や教材園等、それぞれのもつ効果を最大限生かし、新たな行動を促すように努めた。
⑫多様な学習形態の積極的工夫	TT、少人数制、体験学習、グループワーク等、多様な学習形態を工夫し、課題発見、問題解決型の学習を意図して実施した。
⑬読書習慣の育成	朝読書の時間設定、お話ポケットによる読み聞かせ、ブックトーク等、読書への関心を高める指導とその工夫に努めた。
⑭挨拶運動への取り組み	主体的な挨拶の聲が飛び交う学校を目指し、進んで取り組む姿を目指して年間を通して指導に努めた。
⑮いじめを見逃さない教師の高い感性	子どもの変容・人間関係・サインを見逃さず、いじめを許さない姿勢を貫いた。
⑯言葉遣いへの注意喚起	授業中の言葉づかいや友達への「さん」付けなど、子どもたちの言語環境に注意を払った。
⑰一人ひとりが自他の人権を尊重する教育の推進	全教育活動を通して、生命・人権を尊重する態度を、計画的かつ機会をとらえて指導した。
⑱共生・共育プログラムの実施	年間6時間のプログラムを実施する。効果測定結果を分析し、児童指導や学級経営に生かした。
⑲縦割り活動の発展	温かい人間関係が、指導時間だけでなく日常的にみられるよう縦割り活動の推進に努めた。
⑳支援体制の充実	児童の成長を支えるために、教育相談を実施したり支援体制の充実を図ったりすることに努めた。
㉑学校教育目標・教育活動の啓発活動	学校や各学年の教育活動の啓発と広報に努め、教育活動の理解を深めることに努めた。
㉒学校評価システムの効果的活用	児童・保護者・職員に対するアンケートを、教育活動、児童理解に生かし、よりよい学校づくりを全職員で構築するよう努めた。
㉓行事活動や公開授業の積極的に推進	学校行事や学年・学級活動等を保護者や地域の方々へPRし、公開することに努めた。



- ・本校の教育活動について「そう思う」「大体そう思う」の肯定的な回答が80%以上ありました。コロナ禍における日常の教育活動の工夫や行事等、学校教育目標の実現に向けて、共通理解をもちながら進めていくことができたと考えます。
- ・「⑩指導方法の工夫と改善」「⑫多様な学習形態の工夫」「⑨書いたり発表したりして自分の考えを表現しています」は、校内研究を中心としながら、教員の授業改善を引き続き行います。
- ・⑬読書習慣の育成は、児童の結果も踏まえて、より一層読書への関心を高めることを工夫していく必要があると考えます。
- ・今後、学校評価の結果を教職員がしっかりと共有し、次年度の「よりよい学校づくり」のために、生かします。